



## 動労千葉、動労総連合代表団80名も参加

11・1労働者集会は国際連帯集会として大成功し、労働者の国際的団結が画期的に進んだ。とりわけ韓国民主労総、トルコ労働者、ドイツの鉄道労働者との連帯が力強いものとして発展した。

それを受けて、11月14日、韓国で闘われたゼネストと反政府抗議集会に動労千葉、総連合の仲間が訪韓し参加した。韓国のマスコミは次のように報道している。

「ソウル中心部でデモ、政権退陣叫び深夜まで対峙」

全国民主労働組合総連盟（民主労総）と全国教職員労働組合など53の労働・農民・市民団体は14日午後4時、光化門（クアンファムン）広場で労働改革・歴史教科書国定化反対などを主張し「民衆総決起大会」を開催した。警察推定6万4000人（主宰側10万人）の人波だった。2008年の狂牛病ろうそくデモ以降で光化門周辺で開かれたデモでは最大規模だ。警察はバスで壁を作りデモ隊による青瓦台（チョンワデ、大統領府）への

の行進を防いだ。

デモ隊は「朴槿恵（パク・クネ）退陣」などのスローガンを叫び警察と夜遅くまで対峙した。警察は放水や催涙液の噴射でデモ隊に対応した。この過程で警察とデモ隊の一部で負傷者が発生した。10人余りのデモ参加者が警察に連行されたりもした。警察は「集会参加者が鉄製のはしごと鉄パイプで警察のバスを集団で傷つけ警察を無差別

暴行するなど違法暴力デモをした」とし、集会主催者と暴力行為者を厳しく処断すると明らかにした。（15日中央日報）

韓国の労働者が求めているのは、賃金ピーク提案の撤回だ。パククネ政権は、年金支給年齢の先延ばしに合わせて58歳で賃金を6割に減らし（4割カット）、その代わりに定年後は外注会社に再雇用すると言う制度

### 外注化反対連続学習会 第17回

#### 11・1労働者集会、韓国ゼネストの報告

～DVD上映&及び動労連帯、さいたまユニオンからの報告～

日時 11月27日（金）18時30分～

場所 荒川公民館（熊谷市宮前町1-24-1 上熊谷駅から徒歩約2分、熊谷駅南口から徒歩約9分）

主催 国鉄高崎動力車連帯労働組合 / 動労千葉を支援する会・熊谷

連絡先 048-722-7107 & 090-5572-9108

メール srkcjp0314@docomo.ne.jp







逮捕を恐れずパククネへの怒りで機動隊を圧倒する韓国の仲間たち・これが労働者の力だ！

を全労働者に適用しようとしている。これが賃金ピーク制Ⅱ賃金4割削減攻撃だ。

### 日本と同じ攻撃と闘っている

これはJRが1999年にシニア制度でやろうとしたことと全く同じだ。動労千葉は15年前、この制度導入に対して協約締結を拒否して闘い抜いたが、国労・東労組は率先して受け入れ、外注化を飲んでしまった。結局それが、定年後の労働者の低賃金化と外注先労働条件の劣悪化を生み出した。そればかりか、JRはその後あらゆる部門を外注化Ⅱ丸投げ化し、雇用にも安全にも責任をとらず、ただひたすら株価上昇と儲けの極大化だけを求めるようになった。外注先の労働者は圧倒的に非正規化さ

ら、それまで正規労働者がやっていた労働を極端な低賃金と劣悪な労働条件で担わせるようになってしまった。これと同じ攻撃が今、韓国の労働者に襲いかかっている。

だからこそ、多数派労組の屈服にもかかわらずJRでこの攻撃と闘い続けている動労千葉・動労連帯高崎の闘いに、韓国やドイツ、トルコの労働者が限らない連帯を寄せているのだ。

### 11月集会で深めた団結

11月1日の労働者集会を前後した交流の中で、民主労総は日本の動労総連合の闘いを教訓にして、14日には総力をあげてゼネストと大統領府に迫る闘いをやりぬいた。

賃金が4割も下げられるというときに、おとなしくして賃金は守れるはずもない。資本家の欲深さは半端ではない。労働者は自分たちの素直さと同じ物差しで資本家の強欲を計ったとしてもないことになる。奴らは労働者の命よりも自分たちの財布を膨らませることしか頭にない。だから、闘って初めて労働者の要求を通すことができるのだ。

韓国・世界の労働者と団結して、JRと闘おう！

## 【9・17 動労連帯 vs TTS 団交報告 第2回】

# 「細かくは判らない」！ 清掃労働者の数さえ把握していないTTS！

動労連帯は、「構内業務、車両メンテナンス業務、車両清掃業務に従事している人の具体的な数を教えてください」と申し入れたが、TTSの回答は「受託した業務を行うに必要な要員は確保している」と回答してきた。これは、前回報告（団交報告第1回）でも指摘したように、団交に必要な資料を提示しなかったという不誠実団交Ⅱ労働組合法違反にあたる。

そもそも「数を教えて欲しい」と言っているのに、「必要な数は確保している」とはなんと回答なのか？「めんどろなことを聞くんじゃない！」「お前らに言う必要はない！」という対応なのだ。

動労連帯が引き続き食い下がって、「高崎、新前橋ではどんな作業をしているのか？」と繰り返し質問すると、「構内・検修は総勢で136人ぐらいいるんですが、新前橋は46人、高崎は47人、籠原は43人、あとは清掃です」とようやく回答してきた。判ってるんだから、最初っから数を回答すればいいのだから、ところが、驚くべきやり取りはその次であった。

動労連帯が、「構内・検修の数は判ったので」続いて「清掃の人数は？」と質問したところ、TTSはなんと（！）、「細かくはわからない」（？え!!!）と回答してきたのだ！

構内・検修の人員数は答えられるのに、清掃は「判らない」というのだ！なんだ、これは？

車両清掃の労働者だって、TTSが



最低の条件で労働者をこき使いながら御鷹山に「安全祈願」するTTS幹部たち。しかし安全を守っているのは現場の労働者ではないか。人を増やせ！賃金をあげろ！

雇用している労働者だ。いや、車両清掃労働者こそ、TTSが元々雇用してきた労働者ではないか！それなのに「数は判らない」とはどういうことだ。TTSは、それほど、清掃労働者を従業員とは思っていないということか？ゴミ屋はゴミ扱いで、数は承知していない、と言っことか?! ふざけるな！

### 動労連帯高崎に入って闘おう！

車両清掃は大切な業務だ。健康で清潔な車両環境、したがって安全を守る大切な業務だ。TTSもそのように「教育」してきたはずだ。みんな、家族も生活もあって、必死に汗水たらして働いているのだ。それなのに、その人員数も把握していないなんてことが雇用主として許されるのか！

結局清掃労働者がいかに大変で尊い仕事をしているのか、彼らには決してわからないのだ。韓国の仲間のように、みんなでストライキをやろう。動労連帯高崎に結集してともに闘おう！